青少年への支援について
～カタリバでの様子～

今回の研修テーマは青少年の居場所作りをされている「認定特定非営利活動法人カタリバ」（以下カタリバ）のマネジャー佐渡加奈子氏より子ども達との関わりの様子を講義いただきました。

自分に自信が持てず何もする気が起きなくなり不登校になった中学年が、カタリバに温かいご飯を食べたいと通い、次第に「こんな大人になりたい」と高校進学。今では「子ども達に関われることをしたい」と自主的にこども食堂で工作ボランティアとして参加しているそうです。子ども達は地域の中で愛されて育つことで自信を得ることができます。ぜひ地域の民生・児童委員の皆さまに「温かい目で子ども達を見守っていただきたい」とメッセージをいただきました。

講師の佐渡氏は元公務員、子ども達と関わる仕事がしたいと転職し現職。「子ども達は可能性のかたまり、地域の中で安心して育つことができる場や大人が必要。」

コロナ禍ではオンライン支援（タブレットとWi-Fiを無償貸与）で学力サポート、配布型の食事支援で栄養面をサポート。イベントはオンラインで行っています。

全国9か所で運営、区内ではアダチベースNorth（竹の塚）、アダチベースCenter（梅島）の2か所で困難を抱える子ども達向けに学習、体験、食事、居場所支援をしています。

取材日　：令和２年１２月１６日　　参加者数：２４名（青少年委員数名含む）
取材メモ：どんな環境に生まれ育った１０代も、未来を自らつくりだす意欲と創造性を育める社会を目指し活動する教育団体を知ることができました。（田嶋）
問合せ先：地域福祉課　☎６８０７―２４６０　FAX５６８１―３３７４

足立区社会福祉協議会